

ここ3回にわたって「等位接続詞」(conjunción coordinada)を扱ってきましたが、今回で等位接続は最後になります。「推断」という語はあまり聞きなれない語ですが、スペイン語の Ilativa の訳として使っています。「推測や判断」を表す接続表現です。「結果」構文とか「引き継ぎ」構文と呼ばれることの方が多いかもしれません。

以下取り上げる表現は、文法家に言わせれば「接続詞」であったり「接続詞句」であったり「副詞句」であったりと理論的には様々なものを含みます。しかし、学習者の立場からは理屈よりもこれらの表現が理解でき、使用できることが重要ですので過度に拘らないで以下進めることにします。

まずは基本的な3つの表現から見てみましょう。así que, conque, luego です。まず1番よく使われる así que の例です。

Ya han llegado todos tus compañeros, **así que** date prisa en vestirte.  
君の友達全員もう到着した。だから急いで服を着て。

así que はもともと結果構文の así...que (そんなだから...だ) が起源と思われま。現在でも así es que と es が入る形も残っています。

続いて conque ですが、こちらは así que に比べてより会話的です。そして普通は避難や皮肉を込めた表現となります。

No entiendes nada de mi trabajo, ¡**conque** cállate!  
おまえは俺の仕事のことは何もわかっちゃいない、ならば黙っとけよ!

ひとつ注意しなければならないのは、この語は con と que からできていますが、くっつけて conque と書くことになっています。別に con que と離して書く場合がありますが、これは別物で前置詞 con に接続詞の que が関係代名詞の que が続いたものになりますので注意しましょう。

さて次は luego を取り上げます。単語としてはかなり初期の段階で習っていると思います。挨拶の "Hasta luego" がまず頭に浮かぶことでしょう。この場合の luego は「後で」という時間を表す表現です。一例を挙げれば、

Luego te llamo, que ahora estoy reunido.  
今会議中だから後で電話する。

さて、luego は引き継ぎの意味では実はあまり使いません。しかし、次の有名な表現があるのでこれだけは覚えておきましょう。

Pienso, **luego** existo.  
われ思うゆえにわれあり。

有名なデカルトの言葉です。ラテン語の "Cogito ergo sum" (コギト・エルゴ・スム) のスペイン語訳ですが、「われ思う、ゆえに存在する」となっています。

2番目のグループとして entonces と pues を挙げます。どちらもよく使われる上に意味が多彩な語であることが特徴的です。また、両方とも時の副詞から派生していることも共通しています。

まず、entonces の例から行きましょう。

Lea usted este artículo, **entonces** entenderá cuál es el problema.  
この記事を読んでみてください。すると何か問題かお分かりになるでしょう。

会話で相手の発言を受けて、「それじゃ…」という感じで使うことがよくあります。

Perdona, hoy no puedo salir. - **Entonces**, vamos mañana.  
ごめん、今日では出かけられない。—それじゃ、明日にしよう。

本来の時間的用法もついでに確認しておきましょう。「その時」「あの時」という意味で過去にも未来にも使います。

**Entonces** aún no conocía bien la ciudad y me perdía con frecuencia.  
その時まだ街をよく知らなくて、よく迷子になっていた。

en aquel entonces 「あの時」とする用法もあります。未来に対して使っている簡単な例が以下の挨拶札の表現です。

Nos veremos el lunes a las 9:00 en la puerta de la Uni.  
¡Hasta **entonces**!  
月曜日大学の門で9時に会おう。じゃあ、その時まで!

続いてさらに意味が多彩な pues に行きましょう。全部は紹介できませんので代表的なものにとどめます。

No tengo nada de hambre. - **Pues**, ¡no comas!  
全然おなかがすいていない。—じゃあ食うなよ!

pues は「原因」の接続詞として使われることがあります。

Ya me voy a casa, **pues** hoy tengo muchos deberes.  
もう家に帰る。今日はたくさん宿題があるので。

会話中に何て表現したらいいのか言葉が出てこなくて困ることがありますが、そんなときに「時間稼ぎ」をする「言いよどみ」の pues があります。pueeees と延ばすことが多いです。「ええーつと」に近い感じでしょうか。

**Entonces**, **pues**,... no sé cómo decir..., yo...  
それじゃあ、ええつと、なんて言えいいのか、僕は…

さて次は de modo que という慣用句です。この句にはバリエーションがあつて modo の代わりに manera, forma 等が使われることもあります。

Ayer me caí por la escalera, **de modo que** me rompí un brazo.  
昨日階段で転倒したので腕を骨折してしまいました。

de modo que の後ろの文では直説法が使われることに注意してください。接続法だと「～するために」という目的の文になってしまいます。

Las universidades europeas han introducido el sistema común de créditos, **de modo que** puedan aumentar la movilidad de los estudiantes.

ヨーロッパの大学は、学生の流動性を高めるために共通単位制度を導入した。

最後に結果を表す副詞句の例を見て終わりにしましょう。por eso, por lo tanto, en consecuencia, consiguientemente 等です。

En Galicia ha llovido muy poco este año, **en consecuencia** ha habido muchos incendios forestales.

ガリシアでは今年ごく少ししか雨が降らなかった。

結果として山火事が多かった。

今回は「引き継ぎ、結果」を表す表現とそれに関連する表現を見てきました。種類は多様ですが、ひとつひとつ例文とともに確実に覚えて行くことをお勧めします。



仲井 邦佳 なかいくによし / Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語—文法と演習—』(共著、同友社) などがある。